

高校時代サッカーに明け暮れ、疲れた身体をモーツァルトやバルトークが癒してくれた。クラシック漬けの大学時代はホルン三昧の日々、何故かTOTOやMAXUSにハマった。私の中に流れている音楽は何だろうか。クラシックもジャズ、ポップス、ロックすべて大好きだ。今夜、甘いホルンのサウンドとクリアなフルートのサウンドが会う。在りそうでなかったなかった感覚。5つの個性の融合をお楽しみ下さい。

東谷慶太



東谷慶太



重久義明



竹田弘樹



赤木りえ



堀越 彰

## 東谷慶太 Horn

1959年 大阪市生まれ。和歌山大学卒業 大阪教育大学専攻科修了。大学入学後、西田末勝氏(元大阪フィル)のもとでホルンを始める。卒業後、関西フィル、大阪フィルなどのクラシックの世界で研鑽を積む。1991年 古谷充氏率いるスーパーシンフォニックバンドに参加、アレンジャー田中克彦氏と出会い、スタジオプレイヤーの世界に飛び込む。1999年 ギターリスト大西ノリフミ氏とジャズ・ポップスグループを結成。2001年 ザ・フェニックスホール共催「POP CORNES」(4Hr,Gt,Pf,Bass,Dr) 旗揚げ公演、以降2008年、2011年「POP CORNE PROJECT」企画・プロデュース。2008年アルバム「POP CORNE」をリリース。2010年 深町 純 (Pf) 竹田弘樹 (Bass) 堀越 彰 (Dr)とユニット結成、東京デビュー。2011年5月6月7日、POP CORNE PROJECT音楽キャラバン隊を結成(支援協力:ホシザキ電機(株)会長 坂本精志氏、セイコーホールディングス(株))。3度の福島公演シリーズをピアノ齊藤一郎氏(セントラル愛知交響楽団常任指揮者)の協力のもと、避難所 学校等でコンサートやクリニックを行なう。2012年2月ジャズホルンリサイタル大阪公演、東京公演を行う。

## 重久義明 Piano&Key

アン・ミュージック・スクールにて佐藤允彦氏にジャズ・ピアノ、アレンジを師事、1975年頃よりジャズ・ピアニストとしてライブ活動を開始。Jazz にとどまらずPops, Bossa Nova, Samba, R&B, Funk, Rock, chanson, Latin, 舞台音楽、アニメ、Electro, Ambient から、演歌〜現代音楽までその感性は自由に浮遊する。キーボーディスト、アレンジャーとして1970年代〜2000年代を通して多くのJ-Popのアーティストとコラボレーションする。現在ピアニストとして活動するかたわら、自らの「MITAKA SKY studio」で Logic, Pro Toolsを駆使してレコーディング、制作を積極的に行っている。プロデュース、アレンジ、スタジオワーク、CM 制作。

## 赤木りえ Flute

カリブ海と日本を拠点に両地域で活躍するカリビアンフルートの第一人者。文化庁の文化使節として2000年秋から半年間プエルトリコに滞在した事がきっかけとなって、音楽のみならず日本文化セミナーを大学で行うなど両地域の文化交流を積極的に展開する。その功績が高く評価され、2005年にはプエルトリコのユネスコから表彰された。03年、08年には自身のグループを率いてのカリブ海ツアーを敢行し大きな評判を呼んだ。グラミー賞受賞ピアニスト、ミシェル・カミロとのデュオ2曲を含む「カリビアン・フルーツ」(09年)に続き、09年に15作目となる、「フルーツ・ジャムfeaturing赤木りえ」を発表した。東京藝術大学器楽科(フルート専攻)卒業。プエルトリコ音楽院(別名:カザルス音楽院)招待教授。

## POP CORNE PROJECT

2009年8月、大阪でThe WILL (堀越 彰/Drums&Per 渡辺 剛/Violin 深町 純/Piano)との共演から堀越 彰と親交を深め、2010年3月東谷慶太ジャズホルン東京デビューライブ(南青山マンガラ)に於いて、東谷慶太(Horn) 深町 純(Piano&Key) 竹田弘樹(E.Bass) 堀越 彰(Drums&Per)をメンバーとしたユニットを結成、活動を開始する。深町 純の急逝以後、ユニットは休眠状態であったが、2012年2月ピアニスト重久義明を迎え再始動する。今回、ゲストに赤木りえ(Flute)を迎え、初のツアーを行なう。

## 竹田弘樹 E.Bass

学生時代からバンドを結成し数々のアーティストのツアーサポート(大江千里・石井竜也 等)とレコーディング等を行う。86年ロックバンド「CLAXON」、93年ジャズ・フュージョンバンド「PARADOX」のメンバーとして活躍。現在はNEW AGE民謡アーティスト伊藤多喜雄とのセッションをきっかけにアジア人として音楽を探求し制作している。

## 堀越 彰 Drums&Per

1965年 東京生まれ。13才からドラムを始め、海老沢一博氏、村上"ボンタ"秀一氏に師事。日舞家の父の影響から、日本の伝統音楽を深く敬愛する。1990年山下洋輔ニュートリオのメンバーとしてプロデビュー。薩摩琵琶や尺八、笛など日本の伝統的な楽器と組んだ「東方異聞」、ピアノ深町純、バイオリン渡辺剛と3人にして無限大のオーケストラ「The WILL」、動くオブジェで打楽器群を囲み空間演出をする音楽超越パフォーマンス「SOLO-ist」等を主宰。独自の活動を展開している。

# IO3

今から約100年も前の1909年

IO3は当時最も革新的なダブルホルンとして誕生しました。

その誕生は当時の作曲家にとってもホルン奏者にとってもそれまでよりも難度の高い楽曲制作、演奏を可能としたためにとても革命的な出来事となりました。

今日では音楽家や指揮者、そしてホルン奏者に理想的なホルンの音色について尋ねた時に

決まってIO3と言う答えが返って来ます。

オーケストラにおいて神々しいまでに圧倒的な存在感を示すその音色、豊かな響き、そして完成度の高い品質ホルン奏者がIO3を好む理由は数知れません。

IO3は2009年に誕生100周年を迎え長い年月を経て培われてきたその調性は成熟の域に達しました。

音楽表現を更なる高みへと導く指針、IO3。

その名前は音楽を愛するすべての人々の明日のためにいつの時代にも輝き続けます。

100年後にも語り継がれる音色とともに。